

教育に関する事務の点検評価報告書
(令和4年度実施事業)

安中市教育委員会

本市では、第2次安中市総合計画で「まちの将来像」として、

「みんな元気で いきいき暮らせる 市民総働のまち あんなか」

を掲げています。

教育・文化の面では、

「生涯を通じて学び、人を育むまち」

という基本目標を定め、すべての市民が生涯にわたり自由に学習できる機会の充実を図るとともに、健やかでたくましく、しなやかに生きる力を持った子どもや若者を育てる教育を推進してまいります。

基本施策として、

- 生涯学習・社会教育の充実
- 小・中学校教育の充実
- 生涯スポーツの推進
- 芸術・文化の振興

を掲げ、その実現に向け、教育部各課では各種の事務や事業、施策等に取り組んでいます。

この報告書では、原則として一つの事業や施策等につき1ページでまとめ、簡潔で、わかりやすいものとなるよう考慮しています。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、教育部各課が、令和4年度において取り組んだ事務や事業、施策等について、まず、担当課がそれぞれ振り返って事業や施策等に係る点検及び評価を行い、今後の方向性を検討しています。

そして、同法律第26条第2項の規定により、教育に関する学識経験者の知見を活用し、この点検及び評価の客観性を確保するため、学識経験者からご意見やご指摘等をいただいています。

その結果をご報告いたします。

令和5年11月

安中市教育委員会

参 考

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

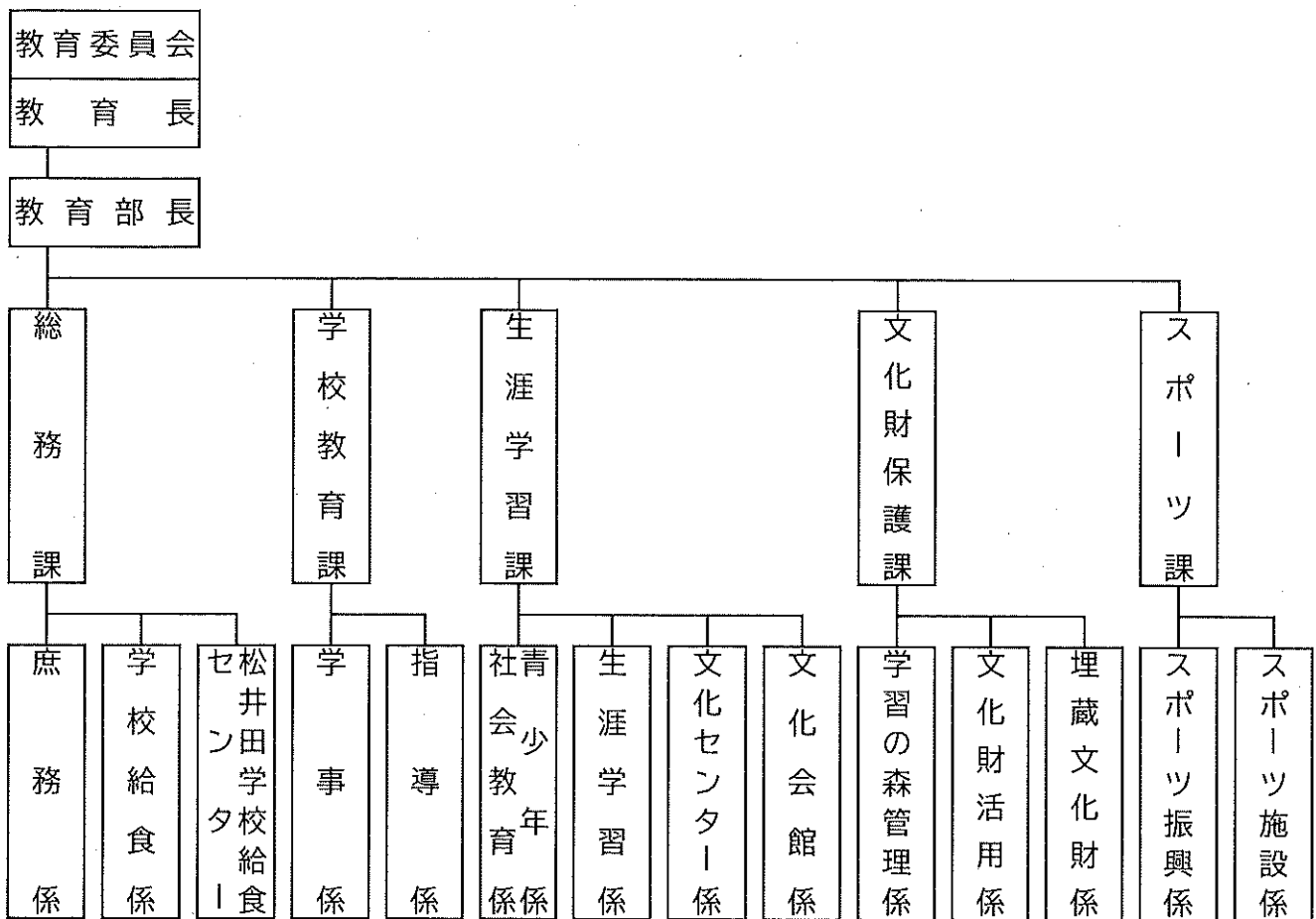
（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

本報告書の作成にあたり、ご指導をいただいた学識経験者

公立大学法人 高崎経済大学
地域政策学部 准教授 吉原 美那子 様



小学校（10校）

中学校（4校）

教育支援センター「せせらぎの家」

地区公民館（8箇所）

生涯学習センター（6箇所）

安中市文化センター

安中市松井田文化会館

点検評価報告書(令和4年度実施事業等)						
教育行政方針	大分類	小・中学校教育の充 実	中分類	教育環境の整備を推進します		
施策名、事業名	学校施設の整備・充実			継続・ 拡充 ・縮小・廃止	担当課	総務課
担当課による点検・評価	事業、施策等の実施内容	1 修繕 84件 (1) 小学校 61件 (2) 中学校 23件 2 工事 ・ 原市小学校 屋外トイレ新築工事				
	成果・費用対効果等の検証	【令和4年度においてこの事業、施策等に要した経費等】 1 修繕 21,689,280円 (1) 小学校 16,553,050円 (2) 中学校 5,136,230円 2 工事 26,147,000円 * 修繕は、学校と連携を取りながら、緊急性のある修繕等を優先的に行い、学校運営に支障が出ないように対応ができた。 * 年々修繕費が増えており(令和3年度比122.5%)、実際に不具合が発生してからの修繕対応だけでも、厳しい予算運営であった。 * 原市小学校の屋外トイレに関して、老朽化した既存トイレを解体し新築したことにより、児童や教職員等が快適かつ衛生的に利用できるようになった。				
	課題・今後の方向性等	* 老朽化した校舎・設備等は、年々補修工事及び修繕が必要となっており、かつ、ICTを活用した学習環境など、求められる機能に変化してきている。引き続き、各種点検による指摘事項の改善、整備などを実施するとともに、閉校した学校施設の維持管理及び利活用についても検討を進める必要がある。そのため、令和5年度に総務課内に「施設係」を新設し、事務1名、建築技師1名を配置した。今後は中長期的な整備計画の策定や、即応できる体制づくりの推進が課題となる。 * 学校施設は、児童生徒の学習・生活の場であるとともに、地震等の災害時には地域の避難所として指定されており、市民の安全・安心においても重要な役割を担っている。こうした学校施設の役割を踏まえ、環境整備に取り組んでいきたい。				
学識経験者による意見、提言	本事業は、学校設置者として必要な業務であり、今後も継続させていかなければならないのは言うまでもない。ほとんどの学校が古いため、令和に合った修繕や改築を行わなければならない(トイレ等の衛生環境の向上や、気温上昇に伴う設備の増設、特別支援のための環境づくりなど)。そこで、専門的知識は必要不可欠になる。職員の増員を活かして、子どもたちや教員が快適な学校生活を送れるよう努めなければならない。					

点検評価報告書（令和4年度実施事業等）				
教育行政方針	大分類	小・中学校教育の充 実	中分類	教育環境の整備を推進します
施策名、事業名	学校給食事業		（継続）・拡充・縮小・廃止	担当課 総務課
事業、 施策等 の実施内容	<p>平成30年度提出された、安中市学校給食運営委員会からの答申を基に、平成31年度教育委員会が今後の学校給食事業についての計画書「安中市学校給食事業における実施方針と運営方針」を作成しました。その中で、自校式調理場は正規調理員の採用を行っていないため定年退職等により減少しており、より少ない経費で安定的に業務を実施するため、段階的に民間委託することが適切であること、また、現行の松井田学校給食センターにおいては、施設設備と民間委託による運営に支障がみられないことから現在の方式を継続することが適切だとされています。</p> <p>令和4年度は、原市小学校一校を民間委託とし、令和5年度については、市内自校式小学校全校、令和6年度には、中学校2校を民間委託として段階的な移行をする予定です。</p> <p>現在は、民間がもつ能力を活用して、より少ない経費で学校給食の意義に即した給食が提供されているところです。</p>			
	担当課による点検・評価	<p>R4に民間委託した原市小学校一校の給食調理業務委託料は、23,328,000円で、その内人件費については16,740,872円でした。市直営で実施した場合の調理業務に関わる人件費見込額は、20,243,108円となっており、費用対効果は優れていると思われます。</p>		
	課題・今後の方向性等	<p>令和6年度からの自校式小中学校9校(全校)の調理業務の民間委託に向けて、給食の質の保持、衛生管理の徹底や食物アレルギーへの的確な対応など、より安全な給食を安定的に提供できる知識と技術を兼ね備えた事業者に委託するため、公募型プロポーザル(企画提案)方式により受託業者を選考したいと考えています。</p>		
学識経験者による意見、提言	<p>今や、全国の半数近くの自治体が、給食事業を民間委託（あるいはそれに近い方法）で実施しているなか、安中市も2年前から民間委託を導入しており、費用対効果がよいとされている。さらに、衛生上の安全・安心も今のところ確保されているということで、本事業の方法はこのまま継続が妥当と思われる。ただし、給食は全国的な動向をみるとリスク（業者の倒産）もあり、第1に民間委託業者の経営状況、第2に材料の値上げ、この2点に注意を払わなければならない。よって、委託業者との交渉や状況確認等を丁寧に進めていく必要がある。</p>			

点検評価報告書（令和4年度実施事業等）

教育行政方針		大分類	小・中学校教育の充 実	中分類	授業改善の推進		
施策名、事業名		GIGAスクール推進事業			継続・拡充・縮小・廃止	担当課	学校教育課
担当課による点検・評価	事業、施策等の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 管内各校へ3名のICT支援員を巡回で配置する。ICT支援員管理責任者1名を配置する。 授業目的公衆送信補償金制度を利用する。 希望する就学援助費受給世帯へモバイルWi-Fiルーターを貸与し、その通信費を負担する。 故障や破損したタブレット端末を修理する。 					
	成果・費用対効果等の検証	<p>【本事業における成果等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ICT支援員が授業支援をしたり、教職員へ研修したり、管理責任者が市教委へ客観的な助言をしたりすることを通して、学校教育の情報化を推進させることができた。また、学校評価アンケートや欠席連絡等のICT化が進み、教職員の業務軽減につながった。 ICT支援員がICT機器をメンテナンスすることで教職員の負担を軽減させることができた。特に、教育委員会と連携しながらタブレット端末の修理や破損等の対応をスムーズに実行できた。 授業目的公衆送信補償金制度を活用して、ICTを通じて著作物を円滑に利用できた。 希望する就学援助費受給世帯へモバイルWi-Fiルーターを貸与することで、児童生徒がタブレット端末を持ち帰って家庭学習できるよう環境を整えることができた。 <p>【この事業、施策等に要した経費等】 配当現額 25,563,700円 / 配当残額 1,125,429円</p>					
	課題・今後の方向性等	<p>【継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各校でICT化が進んできているが、学校差・職員差が見られる。誰一人取り残さずICT機器を効果的に活用することができるようにするためには、ICT支援員、ICT支援員管理責任者の配置を継続する必要がある。 タブレットの使用時間が増え修理件数が増加してきているため、端末修理に係る費用を増額する必要がある。 <p>【今後の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保証期間が切れる2025年以降のタブレット端末の購入方法。国や県からの補助金がなければ市単独で購入することは厳しい状況にある。小中学校で個人負担とすることについて検討が必要である。 					
学識経験者による意見、提言	<p>安中市は、ICTを活用した授業や業務改善が徐々に進んでおり、近隣の自治体より積極的な学校も見受けられる。ただし、本事業継続をする上で、学校のICT化を進めるためには、まず教員の負担を軽減することが前提であるため、現在雇用しているICT支援員の増員を検討し、かつ教員自身の業務の効率化を目指すための研修の機会を増やす必要がある。加えて本事業は、そもそも国（文部科学省及び経済産業省）が主導して進めた事業で国庫補助金に頼っていたが、本事業で購入した情報機器や端末の維持・管理は、各市町村の負担となっており、今後、情報機器や端末の切り替えの方法をいくつか検討しておくとういだろう。</p>						

点検評価報告書（令和4年度実施事業等）

教育行政方針	大分類	生涯学習・社会教育の充実	中分類	市民と社会ニーズに即した魅力的な学びの提供に努めます		
施策名、事業名		学習内容・発表機会の充実、青少年教育の充実	継続・拡充・縮小・廃止		担当課	生涯学習課
	事業、施策等の実施内容	<p>◎社会教育振興事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・童謡フェスティバル 11月6日（日） 参加6団体 松井田文化会館大ホール ・家族の日大会 12月3日（土） 発表者9名 松井田文化会館大ホール ・事業・団体補助 市内小中学校14校ほか5団体 <p>◎青少年健全育成推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少年の主張 7月5日（火） 発表者12名 松井田文化会館大ホール ・青少年健全育成市民のつどい 11月26日（土） 表彰2団体 松井田庁舎2F大会議室 ・二十歳の集い 1月8日（日） 出席者381名 安中市文化センター大ホール ・青少年センター補導員活動 下校時・夜間パトロール ・事業・団体補助 子ども会育成連合会ほか5団体 <p>◎生涯学習事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スプリングフェスティバル 2月11日（日） 安中市文化センター大ホールほか（公民館による各種体験・ステージ発表、記念講演：渡部陽一） 				
担当課による点検・評価	成果・費用対効果等の検証	<p>◎社会教育振興事業（5,536千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族の日大会 小1から中3までの各学年9名により、日ごろの家族（父母、祖父母、兄弟姉妹）への感謝の気持ちを込めた作文の発表。 ・事業・団体補助 市内小中学校14校（PTA学級補助）ほか5団体 <p>◎青少年健全育成推進事業（3,762千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少年の主張 中学生12名により、社会や世界に向けての意見、未来への希望や提案など、日ごろの生活をとおして感じていることや考えていることを発表。 ・青少年健全育成市民のつどい 顕著な活躍が認められる2団体を優良青少年表彰として表彰。 ・二十歳の集い 1月8日（日） 参加者381名 出席率76.8% ・青少年センター補導員活動（下校時、夜間パトロール） 補導員98名 各活動年5回 ・事業・団体補助 子ども会育成連合会ほか5団体（団体活動補助） <p>◎生涯学習事業（1,398千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スプリングフェスティバル安中会場 2月11日（日） 来場者約1000名（公民館による各種体験・ステージ発表、記念講演：渡部陽一） 				
	課題・今後の方向性等	<p>新型コロナウイルス感染症の状況・対策を踏まえながら、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族の日大会 小中学生による家族への日ごろの感謝の気持ちを自分の言葉で述べた心温まる作文となっており、より多くの方々に聞いていただきたい。 ・二十歳の集い 出席者381名、出席率76.8%で、出席率は昨年度より減少。新成人が式典の企画や運営に携わりながら、思い出に残る式典として実施したい。 ・青少年センター補導員活動 下校時や夜間のパトロールを行っているが、夜間パトロールの実施方法を検討して行きたい。 ・スプリングフェスティバル安中会場 大ホールにて開催した記念講演の入場整理券の配布がすべて終了したにもかかわらず、入場者は半分程度であった。配布方法について検討を行いたい。また、担当の事務量過多となっているため、公民館職員や協力団体職員とも協力を図りたい。 				
学識経験者による意見、提言	<p>昨年度、一昨年度において、新型コロナ拡大防止のため中止あるいは縮小していた活動に戻すことができ、成人式はもとより、家族の日大会やスプリングフェスティバルなど、活気が戻ったようである。一方で、慣例的に同じ内容かつ同じ方法で行っている事業が多く、現状に合っていないものがある。ゆえに、1つ1つの事業の課題を整理し、今の時代にあった内容、今の時代にあった方法で行っていくことが必要となろう。</p>					

点検評価報告書（令和4年度実施事業等）

教育行政方針		大分類	生涯学習・社会教育の充実	中分類	学びの体制づくりを進めます			
施策名、事業名		施設・設備の計画的な維持管理			継続・拡充・縮小・廃止	担当課	生涯学習課	
事業、施策等の実施内容	<p>安中市公共施設等個別施設計画で示された生涯学習係が管轄する施設の修繕等計画については、地区公民館及び生涯学習センター各1館で計画修繕が実施された。今後予定する各施設の改修・修繕等については、目視による施設の状態確認を踏まえ、この計画に基づき実施していくことが基本となる。</p> <p>【生涯学習係の管轄施設(15館) 築年度：評価】（個別施設計画で各館A～E評価に分類された）</p> <p>◆集会所管理運営事業（2館） ①八城集会所（S48：E）②下増田集会所（S49：E）</p> <p>◆生涯学習センター運営事業（施設管理は松井田・新堀地区生涯学習センターを除く5館） ①白井地区生涯学習センター（S55：E）②坂本・入牧地区生涯学習センター（S61・H27度：C）③西横野地区生涯学習センター（S61：C）④九十九地区生涯学習センター（H27：A）⑤細野地区生涯学習センター（H7：C）</p> <p>◆地区公民館管理運営事業（8館） ①安中公民館（H4：A）②原市公民館（S60：C）③磯部公民館（S59：C）④東横野公民館（S61：C）⑤岩野谷公民館（S59：C）⑥板鼻公民館（S62：C）⑦秋間公民館（H元：C）⑧後閑公民館（S62：C）</p>							
	担当課による点検・評価	<p>【令和4年度においてこの事業、施策等に要した経費等】</p> <p>◆集会所管理運営事業（2館） 総事業費（歳出）2,162,840円（歳入）0円</p> <p>◆生涯学習センター運営事業（施設管理は松井田・新堀地区学習センターを除く5館） 総事業費（歳出）19,247,377円（歳入）202,194円</p> <p>◆地区公民館管理運営事業（8館） 総事業費（歳出）20,881,204円（歳入）256,988円</p> <p>管轄する施設の建築年次が古く、耐震性能・老朽化状況等から個別評価は低い評価となっている。各施設とも社会教育・生涯学習・人権教育啓発活動の拠点として、また自主的活動など交流の場として必要な施設であり、計画的な改修・修繕等を継続して行い、地域の活動を支えていくことが重要と考える。令和4年度は新型コロナウイルスの感染拡大も収まりを見せ、各施設とも主催事業及び貸館の再開により、地域のコミュニティーや学習成果の発表の場として活動が始まっている。また、社会活動も再開を始め地域活動の拠点となる生涯学習施設の計画的な改修・修繕等を継続し、地域の活動を支えていくことが重要である。</p>						
		<p>課題・今後の方向性等</p> <p>策定された個別計画に基づき施設・設備の維持管理を行っていく予定ではある。しかし多くの施設で老朽化・経年劣化という問題を抱えているが、財政状況は非常に厳しい状況であることから、個別計画どおりに実行されることは難しいと考えられる。そのため、日々職員による目視点検等を行い、意見箇所等が発見された場合などは速やかに対処する必要がある。</p>						
学識経験者による意見、提言	<p>本来なら、老朽化した施設などは整理、統合すべきであるが、安中市においては生涯学習課が管理するこうした施設のニーズが少しでもある限り、このまま維持していかなければならない現状にある。そのため、今後も修繕を積み重ねていくしかない。さらに、そのまま施設を維持していくのならば、利用者にも当事者意識をもってもらい、維持管理や活用そのものを促す必要があると言えよう。</p>							

点検評価報告書（令和4年度実施事業等）																																			
教育行政方針	大分類	生涯学習・社会教育の充実	中分類	市民と社会ニーズに即した魅力的な学びの提供に努めます																															
施策名、事業名	文化センター管理事業		継続・拡充・縮小・廃止	担当課	生涯学習課																														
事業、施策等の実施内容	<p>○文化センター管理運営事業(管理運営事業・主催教室事業・自主文化事業)</p> <p>学習内容・発表機会の充実、芸術・文化の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の拠点として、快適な学習環境の整備をする ・学習活動の成果発表の場を提供する <p>自主文化事業については再開（八代亜紀プレミアムコンサート）・主催教室（初心者パソコン講座、写真取り込み講座、市民の茶席、おもしろ科学教室等）については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p> <p>○図書館運営事業</p> <p>松井田図書館との連携・協力を図りながらサービスの充実と利用の促進を目指す</p> <p>図書館イベントの再開(絵本の読み聞かせ、夏休みスタンプラリー等)</p>																																		
	担当課による点検・評価	<p>【4年度においてこの事業、施策等に要した経費等】</p> <p>○文化センター管理運営事業(管理運営事業・主催教室事業・自主文化事業)</p> <p>予算額 58,622千円 決算額 56,091千円</p> <p>主な事業経費等</p> <table border="0"> <tr> <td>歳入</td> <td>文化センター使用料</td> <td>307千円</td> <td>複写機使用料</td> <td>24千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>市民談話室使用料</td> <td>120千円</td> <td>自動販売機売上配分金</td> <td>95千円</td> </tr> <tr> <td>歳出</td> <td>施設整備修繕料</td> <td>3,779千円</td> <td>施設管理委託料</td> <td>24,727千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>光熱水費</td> <td>10,195千円</td> <td>自主文化事業委託料</td> <td>5,560千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・主催事業</td> <td>46回</td> <td>2,491人（前年度比 2,424人増）</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・貸館事業</td> <td>1,092回</td> <td>35,630人（前年度比 32,186人増）</td> <td></td> </tr> </table> <p>○図書館運営事業</p> <p>■主な事業経費</p> <p>予算額27,111千円 決算額26,615千円</p> <p>(消耗品費2,121千円、賃借料4,660千円、備品購入費5,250千円)</p>				歳入	文化センター使用料	307千円	複写機使用料	24千円		市民談話室使用料	120千円	自動販売機売上配分金	95千円	歳出	施設整備修繕料	3,779千円	施設管理委託料	24,727千円		光熱水費	10,195千円	自主文化事業委託料	5,560千円		・主催事業	46回	2,491人（前年度比 2,424人増）			・貸館事業	1,092回	35,630人（前年度比 32,186人増）	
		歳入	文化センター使用料	307千円	複写機使用料	24千円																													
	市民談話室使用料	120千円	自動販売機売上配分金	95千円																															
歳出	施設整備修繕料	3,779千円	施設管理委託料	24,727千円																															
	光熱水費	10,195千円	自主文化事業委託料	5,560千円																															
	・主催事業	46回	2,491人（前年度比 2,424人増）																																
	・貸館事業	1,092回	35,630人（前年度比 32,186人増）																																
課題・今後の方向性等	<p>○文化センター管理運営事業(管理運営事業・主催教室事業・自主文化事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物や設備等の老朽化により安全性の確保が懸念されており、中長期的な視点に立った施設・設備の長寿命化計画に基づく維持管理が必要となっている。 ・ホールでの催事がある時は、駐車可能台数の問題があり、図書館を利用する市民の駐車も考慮し検討すべき課題である。（令和6年度駐車場増設工事を予定） ・子どもから一般向けの主催講座を幅広く開催し評価を得ているが、今後新しい企画等展開するために他市町村の講座内容等調査し、より一層参加者数を増やすよう検討する。 ・講座によっては定員に満たないものもあり、ホームページ等活用し広く市民に周知するよう努める。 ・新型コロナウイルス感染症防止対策の警戒度による対応 <p>○図書館運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民に対する生涯学習活動支援の場としての役割を担う ・松井田図書館との協力・連携を図りながら、生涯を通じて利用し、親しむことのできる図書館を目指す ・引き続き感染防止対策を図りながら、利用者の安全・安心につながる運営を行っていく 																																		
学識経験者による意見、提言	<p>昨年度、一昨年度において、新型コロナ拡大防止のため中止あるいは縮小していた活動を戻すことができ、図書館も文化センターも多くの市民に利用され、通常運転に戻ったようである。ただし、これらの施設の老朽化は、以前にも増して課題であるため、大規模改修の検討を始めるとともに、空調などの設備についても確認して行く必要がある。一方で、主催事業については、自主文化事業や図書館事業とは異なり、今後どのように展開するか、ゼロベースで検討する必要がある。</p>																																		

点検評価報告書（令和4年度実施事業等）

教育行政方針		大分類	芸術・文化の振興	中分類	芸術文化の振興を図ります		
施策名、事業名		文化会館管理運営事業			継続・拡充・縮小・廃止	担当課	生涯学習課
担当課による点検・評価	事業、施策等の実施内容	<p>○文化会館管理運営事業（管理運営事業・主催事業） 芸術・文化の振興、芸術文化事業の充実 ・芸術文化等各種団体の活動拠点として施設を提供する ・文化活動の成果発表の場を提供する ・芸術文化の鑑賞機会を提供する 主催事業の再開（コンサート）</p> <p>○図書館運営事業 安中市図書館との連携・協力を図りながらサービスの充実と利用の促進を目指す 図書館イベントの再開（絵本の読み聞かせ、夏休みスタンプラリー等）</p>					
	成果・費用対効果等の検証	<p>【4年度においてこの事業、施策等に要した経費等】 ○文化会館管理運営事業 予算額 62,193千円 決算額 54,625千円 ■主な事業経費 【歳入】・文化会館使用料 1,545千円 ・自動販売機電気使用料 99千円 ・複写機使用料 40千円 ・自動販売機売上収益配分金 209千円 【歳出】・施設整備修繕料 1,667千円 ・施設管理委託料 26,881千円 ・光熱水費 11,560千円 ■貸館事業 257回 13,649人（大・小ホール・市民ギャラリー）</p> <p>○図書館運営事業 ■主な事業経費 予算額6,488千円 決算額6,236千円 （消耗品費1,397千円、賃借料316千円、備品購入費4,448千円）</p>					
	課題・今後の方向性等	<p>○文化会館管理運営事業 ・主催事業の再開（うすい街道寄席・コンサート・映画上映会等） ・芸術文化の鑑賞機会の提供は、文化センターと連携し内容が重複しないように検討する ・築25年を経過し老朽化が目立つが、その都度修繕を行い、多くの市民が快適・安全に利用できるよう施設運営を目指す</p> <p>○図書館運営事業 ・市民に対する生涯学習活動支援の場としての役割を担う ・安中市図書館との協力・連携を図りながら、生涯を通じて利用し、親しむことのできる図書館を目指す ・引き続き感染防止対策を図りながら、利用者の安全・安心につながる運営を行っていく</p>					
学識経験者による意見、提言	<p>本事業は、新型コロナ拡大防止による縮小から活動が戻り、以前と同様に施設の活用が行われている。今後も継続という判断で問題ないが、気候変動による空調設備の適正化を図る、部分的に修繕を行う等を進めていく必要がある。</p>						

点検評価報告書（令和4年度実施事業等）

教育行政方針	大分類	芸術・文化の振興	中分類	文化財の適切な保全と活用を進めます。		
施策名、事業名	歴史の道中山道碓氷峠越整備事業及び「碓氷関所跡」の保存活用に関する調査研究			継続・拡充・縮小・廃止	担当課	文化財保護課
	事業、施策等の実施内容	文化庁が平成8年に選定した「歴史の道中山道碓氷峠越」の整備をすることにより国史跡指定を目指し、中山道碓氷峠越に隣接する歴史的資産である「堂峰番所跡」を公有地化し、国史跡指定を目指す。なお、最終目標は「堂峰番所跡」の本所的機能を果たした「碓氷関所跡」の国史跡指定である。第1段階として、平成30年度に「歴史の道中山道碓氷峠越整備検討委員会」を組織し現地調査を実施し、令和2年度に整備基本計画を策定し、令和3年度に全体の基本設計及び第4工区（カーブ9地点から堀切）の実施設計を策定し、令和4年度以降第4工区の整備工事を実施する。第2段階として、令和6年度に中山道碓氷峠越の国史跡指定を行う予定。第3段階として、令和6年度以降に第3工区（堀切～栗ヶ原）・第2工区（栗ヶ原～子持山）・第1工区（子持山～碓氷峠）の整備工事を実施する。第4段階としては第1工区～第4工区の案内標識等の設置を行う。第4段階として、中山道碓氷峠越に隣接する歴史的資産（「堂峰番所跡」）の公有地化を行い、「堂峰番所跡」の本所機能を果たしていた「碓氷関所跡」の国史跡指定を目指す。				
担当課による点検・評価	成果・費用対効果等の検証	<p>平成30年度に「中山道碓氷峠越整備検討委員会」（以下「検討委員会」）を組織し、現地調査を実施した。「委員会」資料及び成果物（測量・整備基本計画・設計）の作成は民間コンサルタントに業務委託し、令和元年度に中山道碓氷峠越全体の測量、令和2年度に「歴史の道中山道碓氷峠越整備基本計画（基本設計の方針）」を策定し、令和3年度に全体の基本設計、第4工区の実施設計及び『歴史の道中山道碓氷峠越整備に伴う調査報告書』の刊行を行った。令和4年度は第4工区の実施設計に基づき、第4工区の整備工事に着手し、刎石坂に注意喚起柵・くさり場の設置、浸食対策として導流工3箇所を設置し、弘法の井戸南にある中山道の支障木を伐採した。本事業は、整備基本設計方針策定→全体の基本設計及び第4工区の実施設計策定、『歴史の道中山道碓氷峠越整備に伴う調査報告書』の作成→整備工事の実施、というように、長い期間を要する事業であるが、歴史の道中山道碓氷峠越及び「堂峰番所跡」、「碓氷関所跡」を保存整備し、後世に伝えることができ、また、安中市の観光資源として横川・坂本地区の活性化にもつながり、市民には郷土の史跡に触れることにより史跡の継承と郷土愛を育むことが考えられる。</p> <p>歳入 国庫補助金 6,553千円 県補助金 1,966千円 計 8,519千円 歳出 報償費 69千円 費用弁償 108千円 委託料 3,443千円 整備工事 9,482千円 計 13,107千円</p>				
	課題・今後の方向性等	長期わたる事業（18年間を予定。）であり、継続性の担保及び財政面での予算確保が課題となり、市民の理解が必要となってくる。歴史の道中山道碓氷峠越及び堂峰番所、碓氷関所跡を国指定史跡化することができれば、観光資源として活用でき、江戸時代の中山道を体感することができる。				
学識経験者による意見、提言	令和12年度までの長期計画事業であるため、本事業はしばらくは実施としなければならない。現在は、第四工区を実施中であり、とにかく、従事者の安全を確保した上で、粛々と事業を継続していくことだろう。一方で、現在インバウンドの回復に伴い、日本の自然や歴史に触れるための観光客が増えている。そうした状況に対応するため、安全のための注意喚起や中山道や碓氷関所の歴史的価値を伝えるための案内板を設置していく必要が出てくるであろう。					

点検評価報告書（令和4年度実施事業等）

教育行政方針		大分類	生涯スポーツの推進	中分類	生涯スポーツの振興を推進します					
施策名、事業名		軽スポーツの普及・促進			継続	・ 拡充	・ 縮小	・ 廃止	担当課	スポーツ課
担当課による点検・評価	事業、施策等の実施内容	<p>各種スポーツ教室等の開催</p> <p>◎教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民ゴルフ教室（前期） 延べ104名 ・市民ゴルフ教室（後期） 延べ101名 ・市民スケート教室 40名 ・プロスポーツアカデミー ジュニアゴルフ教室 延べ25名 ・初心者水泳教室(中止)、市民スキー教室(中止) <p>◎イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ健康フェア 86名 ・市民ウォークラリー 133名 ・メディカルチェック・体力測定事業(中止) 								
	成果・費用対効果等の検証	<p>【令和4年度においてこの事業、施策等に要した経費等】</p> <p>決算額 540千円</p> <p>参加者の感染防止対策が出来る事業のみ、警戒レベルを勘案して開催することが出来た。各種教室の開催については、いつでもどこでも、身近にスポーツに親しむことのできる場の創出として、生涯スポーツの振興を図っている。初心者を対象とした底辺の拡大や、スポーツの楽しみ方への入り口として効果的に実施されている。また、イベントの参加人数も定着しており、運営方針等の目的の実現に寄与していると思われる。</p>								
	課題・今後の方向性等	<p>コロナ禍からようやく解放されつつある今、各種スポーツ事業の実施については、積極的に行っていく必要性を感じられる。市民の生涯スポーツによる健康な身体づくりに対する意識は以前より高まりつつあり、身体を適度に動かしバランスの取れた生活習慣を身につけることや、大会や教室などを通じて様々なスポーツを楽しむことを市全体をあげて行っていかなければならない。</p> <p>生涯スポーツの振興と合わせて、プロスポーツ選手による専門性の高い内容の教室をR4には開催したが、応募者は想定より少なかったため、広報周知をより充実させるとともに、市民の求めるニーズを把握して、事業を実施していくことも必要である。今後においてはスポーツ振興だけにとどまらず、生涯スポーツへの関心を高める啓発や市民の健康づくりなどの観点においても、市民のニーズにあった事業の開催やPRが求められる。</p>								
学識経験者による意見、提言	<p>当年度はスポーツイベントへの参加が、前年度より非常に増えた。あらためてスポーツの需要というのが市民の皆さんに見直されたことの現れであろう。特に安中市は軽スポーツが盛んである。この軽スポーツ文化は今後も是非継承していただきたいところである。</p>									

点検評価報告書（令和4年度実施事業等）

教育行政方針		大分類	生涯スポーツの推進	中分類	生涯スポーツの振興を推進します		
施策名、事業名		スポーツ大会や合宿の誘致		継続・拡充・縮小・廃止	担当課	スポーツ課	
担当課による点検・評価	事業、施策等の実施内容	<p>各種スポーツ大会の開催</p> <p>◎市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生ドッジボール大会 62名 ・小学生駅伝競走大会 122名 ・市民マラソン大会 258名 ・市民水泳大会（中止）、市民綱引き大会（中止） <p>◎県</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県民スポーツ大会夏季都市対抗水泳大会 36名 ・県民スポーツ大会秋季大会（陸上等） 161名 ・県民スポーツ大会冬季大会（スキー競技） 15名 ・県民スポーツ大会駅伝競走大会（中止）、県民スポーツ大会冬季大会（スケート競技）（中止） 					
	成果・費用対効果等の検証	<p>【令和4年度においてこの事業、施策等に要した経費等】</p> <p>決算額 1,293千円</p> <p>参加者の感染防止対策が出来る事業のみ、警戒レベルを勘案して開催することが出来た。各種スポーツ大会の開催にあたっては参加者の基礎体力の向上や、スポーツを通じての親睦が図られていると思われる。本市のスポーツ振興を図るために、各種大会の援助を実施し、各団体の育成・技術水準の向上を図ることができた。</p>					
	課題・今後の方向性等	<p>スポーツ大会の開催については、参加者の人数はほぼ同数で推移しているが、コロナの影響が大きく中止となった事業も多数あった。コロナ禍からようやく解放されつつある今、各種スポーツ事業の実施については、積極的に行っていく必要性を感じられる。市民の生涯スポーツによる健康な身体づくりに対する意識は以前より高まりつつあり、身体を適度に動かしバランスの取れた生活習慣を身につけることや、大会や教室などを通じて様々なスポーツを楽しむことを市全体をあげて行っていかなければならない。</p> <p>大会の開催については競技が固定化されているため、今まで実施されていない種目のスポーツを取り入れることも必要かと思われる。</p>					
学識経験者による意見、提言	<p>少子高齢化に伴い人口減が地方において問題とされる中、移住者などで人口増を図る自治体も多いが、移住者によって大幅な人口増がどの自治体も期待できるわけでない。よって、こうしたスポーツなどのイベントは、市外あるいは県外から安中市に関わりをもってもらう関係人口づくりに大きく貢献するものである。こういった事業を積極的に取り組んで行くことが、今後の安中市の発展に影響するのではないかと考える。</p>						

点検評価報告書（令和4年度実施事業等）

教育行政方針		大分類	生涯スポーツの推進	中分類	生涯スポーツの振興を推進します				
施策名、事業名		「安政遠足待マラソン」大会の運営・活用		継続	・ 拡充	・ 縮小	・ 廃止	担当課	スポーツ課
担当課による点検・評価	事業、施策等の実施内容	<p>第48回安政遠足待マラソン大会の開催</p> <p>◎安政遠足待マラソン大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関所、坂本宿コース エントリー935名 出走者823名 完走者737名 ・ 前夜祭、開会式、峠コースはコロナ感染拡大防止のため中止 <p>◎安政遠足子どもミニ遠足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 低学年の部 49名 ・ 高学年の部 54名 計103名 							
	成果・費用対効果等の検証	<p>【令和4年度においてこの事業、施策等に要した経費等】</p> <p>決算額 5,150千円</p> <p>本市の一大イベントである安政遠足待マラソン大会を通して、スポーツ振興を図るとともに、地域活性化の推進を図ることができた。日本最古のマラソンといわれる郷土の伝統的行事を継承するとともに、市民を含め全国的にPRをし、市民スポーツへの関心及び参加意欲の高揚を図ることができた。コロナ禍において、参加者の感染防止対策を十分に考慮した上で、警戒レベルを勧案して開催することができた。</p>							
	課題・今後の方向性等	<p>コロナ禍からようやく解放されつつある今、安政遠足待マラソン大会実施については、通常開催に移行していくことが想定されている。特にR6は50回記念大会となるため、安中市の一大事業として盛り上げていくために市全体をあげて行っていかなければならない。</p> <p>本事業においては市を代表する大規模なイベントであることから、今後も継続的な大会運営を図るためには、参加人数に応じた運営・人員体制の整備や市民、地域との連携の推進が必要である。また、前夜祭事業の位置付けにおいて、社会体育事業としての性格が異なる部分が見受けられるため、ニーズに合った関係部署との調整を進めたい。</p>							
学識経験者による意見、提言	<p>安中遠足待マラソンは、本市にとって歴史があり、市民にとってはアイデンティティに関わるもの、一方市外の方々への知名度を高める、あるいは関係人口をつくっていく等といった点において、非常に意義のあるものである。これまで本事業は主にスポーツ課が担っていたが、そういった点においても、全市として取り組むべきものではないだろうか。</p> <p>スポーツ課が首長部局に移管するのを機会に、その取り組み方を見直しされることを期待する。</p>								

点検評価報告書（令和4年度実施事業等）																																	
教育行政方針	大分類	生涯スポーツの推進	中分類	スポーツ施設の計画的な整備を推進します																													
施策名、事業名	スポーツ施設の計画的な維持管理		継続	拡充・縮小・廃止	担当課 スポーツ課																												
事業、 施策等の 実施内容	<p>スポーツセンター管理運営事業及び体育施設管理事業 （西毛総合運動公園以外のスポーツ施設）</p> <p>○スポーツセンター 総合体育館（アリーナ・温水プール・トレーニング室・体操室・会議室）、多目的グラウンド、子どもスポーツ広場、アーチェリー場（仮移転中）</p> <p>○体育施設 中央体育館、米山体育館、安中体育館、安中卓球場、安中格技場（剣道場・柔道場・ピティ）、原市体育館、原市卓球場、東横野体育館、上後閑体育館、松井田体育館、原体育館、坂本体育館、ひさよし緑地（グラウンド・ゲートボール場）、ふるや広場、郷原緑地グラウンド、さとのほらグラウンド、すみれが丘公園野球場、東横野グラウンド、碓東緑地グラウンド、板鼻スポーツ広場、秋間みのりが丘北側広場、五料運動場、坂本スポーツ広場、西横野多目的広場、人見広場、小日向スポーツ広場、細野スポーツ広場、琴平グラウンドゴルフ場、五料グラウンドゴルフ場、小日向グラウンドゴルフ場、安中テニスコート、原市テニスコート、郷原緑地テニスコート、五料テニスコート</p>																																
	担当課による点検・評価	<p>市民の体力保持向上・健康増進に寄与し、スポーツを通して多くの世代・地域が交流することで青少年の健全育成や地域の活性化に貢献した。 施設全体の老朽化から突発的な故障・不具合が多発し厳しい予算運営を余儀なくされた。計画的な予防交換により施設の長寿命化・安全性を高める必要がある。</p> <table border="1"> <tr> <td>◎執行状況</td> <td>スポーツセンター</td> <td>体育施設</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>予算現額</td> <td>91,224,000円</td> <td>91,331,000円</td> <td>182,555,000円</td> </tr> <tr> <td>支出済額</td> <td>88,597,995円</td> <td>89,151,302円</td> <td>177,749,297円</td> </tr> <tr> <td>予算残額</td> <td>2,626,005円</td> <td>2,179,698円</td> <td>4,805,703円</td> </tr> <tr> <td>予算繰越</td> <td colspan="2">※127,688,000円</td> <td>※127,732,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="4">（※スポーツセンター屋根改修工事に伴う繰越）</td> </tr> <tr> <td>◎利用者数</td> <td>98,612人</td> <td>254,011人</td> <td>352,173人(延べ人数)</td> </tr> </table>				◎執行状況	スポーツセンター	体育施設	合計	予算現額	91,224,000円	91,331,000円	182,555,000円	支出済額	88,597,995円	89,151,302円	177,749,297円	予算残額	2,626,005円	2,179,698円	4,805,703円	予算繰越	※127,688,000円		※127,732,000円	（※スポーツセンター屋根改修工事に伴う繰越）				◎利用者数	98,612人	254,011人	352,173人(延べ人数)
		◎執行状況	スポーツセンター	体育施設	合計																												
予算現額	91,224,000円	91,331,000円	182,555,000円																														
支出済額	88,597,995円	89,151,302円	177,749,297円																														
予算残額	2,626,005円	2,179,698円	4,805,703円																														
予算繰越	※127,688,000円		※127,732,000円																														
（※スポーツセンター屋根改修工事に伴う繰越）																																	
◎利用者数	98,612人	254,011人	352,173人(延べ人数)																														
課題・今後の方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化の影響による小中学校の廃校に伴い、学校体育施設が社会体育施設となったことから管理施設は増加の傾向にある。 ・既存の施設の老朽化が進み維持に必要な費用も増加していることから、各施設について耐震性を考慮した上で継続か廃止かを検討していく必要があると思われる。 ・継続する施設については長寿命化によりライフサイクルコストの削減を推進していく必要があり、その管理についても直営維持か指定管理者制度導入かを検討する必要がある。 ・経費削減のため、職員による直接整備を実施しているが作業場所の増加や天候及び整備の専門性等によりなかなか進捗しない状況にある。 ・国体群馬大会で総合体育館が会場に指定されているので、徐々に整備を実施していく必要がある（令和10年プレ大会、令和11年本大会） ・市総合計画の中でスポーツ施設の整備方針や整備計画を具体的に明示することが必要がある。 																																
学識経験者による意見、提言	<p>本事業に関わる施設は多岐にわたり、維持管理、運営に伴うコストも多いが、安中市民にとってこれらの施設は健康の維持管理やスポーツを楽しむためには必要不可欠なものになっている。にもかかわらず、本事業に関わる職員の数も限定されているので、今後どのように進めるべきか、首長部局で是非検討していただきたい。</p>																																

点検評価報告書（令和4年度実施事業等）						
教育行政方針	大分類	生涯スポーツの推進	中分類	スポーツ施設の計画的な整備を推進します		
施策名、事業名	西毛総合運動公園の改修・更新			継続・拡充・縮小・廃止	担当課	スポーツ課
担当課による点検・評価	事業、施策等の実施内容	<p>西毛総合運動公園は公園施設として都市公園法の掲げる施設であり、高崎市等広域市町村圏振興整備組合から移管により平成24年4月1日から本市の固有施設となる。スポーツ施設として機能していることからスポーツ課の所管施設である。</p> <p>西毛総合運動公園管理運営事業 野球場、屋外プール(50m・25m・子供プール)、少年野球場、陸上競技場、テニスコート、多目的広場、駐車場の管理（総面積160,000㎡） ※多目的広場は市の防災訓練会場としても使用されている。 （県内12市による県防災訓練の当番市のためその会場にも利用）</p>				
	成果・費用対効果等の検証	<p>市民の恒常的な体力づくりをはかり、健康増進に貢献した。スポーツを通じての多世代間・地域間の交流の場を提供し、青少年の健全育成・地域のコミュニティ作りに貢献した。また、西毛地域のスポーツ施設の拠点として近隣市町村在住者の利用も多い。</p> <p>◎執行状況 予算現額21,967,000円 執行済額20,541,819円 予算残額1,425,181円 ◎利用者数 20,598人（延べ人数） 内訳 野球場 16,064人(競技者8,301人・観客数7,763人)、 少年野球場 943人、陸上競技場 5,049人、テニスコート 5,094人、 屋外プール 2,453人</p>				
	課題・今後の方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の老朽化が問題である。全ての施設が建設後50年以上経過していることから、全面的に改修を行う必要がある。 ・経済状況・社会情勢を考慮しつつ改修計画を作成し、利用者に安全で安心な運動場としての環境を提供する必要がある。 ・施設の老朽化から、現状では多目的な利用に限界がある。 ・全国スポーツ大会群馬大会で西毛総合運動公園陸上競技場が会場として使用されるため整備を行う必要がある。（令和10年プレ大会、令和11年本大会） <p>※種目はアーチェリー競技</p>				
学識経験者による意見、提言	<p>西毛総合運動公園は、これまで幾度となく改修、修理修繕を繰り返してきた。安中市民にとどまらず近隣住民にも活用されている大規模施設であるため、今後も本事業は粛々と継続していく必要がある。スポーツ課が首長部局に移管されるのを機に、より専門的な修理、修繕を行えることを期待する。</p>					